

平成16年度 宮前区魅力ある区づくり推進事業評価一覧

	事業名	目的及び内容	開始年度 (平成)	予算額(円)	調整額(円)	決算額(円)	不用額(円)	事業評価					次年度以降 の事業計画	具体的な展開方針	優先度	
								必要性	公平性	効率性	達成度	総合評価				
1 地域協働によるまちづくりを目指して																
1-1	まちづくり推進事業	「宮前区区づくりプラン」の推進及び実現のため、区民、地域団体代表、企業、行政を構成員とした推進委員会を設置し、事業を推進する。平成16年度理事会開催数11回、支援活動事業やホームページによる広報手法、今後の運営体制などについて議論された。	9年度	9,000,000	-1,500,000	4,218,658	3,281,342	3	2	1	2	2	顕在化した課題への取組は、市民と行政のパートナーシップ事業として活動できた。しかし、潜在化した地域課題などの情報収集は不足しており、地域の活動団体やグループとの連携を強化する必要がある。	見直し・改善のうえ継続	平成17年度から4期目となり、組織体制を変更し、地域活動団体・グループ、町内会などの組織と連携機能を強化するための「支援センター」を設立し、機能を充実させる。	A
1-2	東名川崎IC周辺整備事業	川崎市北部の玄関口としての東名川崎インターチェンジ周辺の景観整備をすることにより、川崎のイメージアップを図る。平成16年度の協議会開催数は8回、今年度はIC周辺の植栽整備とモニュメントの作成を行った。	16年度	2,000,000		1,286,097	713,903	3	3	2	3	2	平成16年度の活動は、当初予定した事業は概ね達成できた。	終了を見越して継続する	植栽・シンボルモニュメントといった短期課題を3年間の活動で成果をだす。看板整理や高速道路下の利用方法などの中・長期課題については、この3年間で実現性を検討し、事業の継続について必要性を決定する。	A
2	みやまえふれあいフェスタ	「健康と福祉」をテーマに、区民相互の交流・ふれあいを目的とする。平成16年度は9月12日開催。また、初の試みとして健康まつりと同時開催した。出演団体32団体、来場者数6,000人	7年度	1,800,000		1,549,648	250,352	2	2	2	2	2	多くの区民が参加しており、健康と福祉を考える機会として有効であるが、参加団体・出演者がテーマ・主催者側の意向を完全に理解した上で参加しているとは言えず、より一層の目的意識を主催者側が高揚させる必要がある。	見直し・改善のうえ継続	「健康と福祉」というテーマは、本来日常的なものであり、イベントの目的や誰に対して行う事業なのか等を明確にする必要がある。また、テーマを全面に出した企画内容にする必要性があり、健康福祉局等の関係部局との連携や企画面での工夫が必要である。	B
3	みやまえスポーツふえすていばる	女子バレーボール大会、ソフトボール大会、歩こう会など各種スポーツ大会をとおして、活力あるふれあいの場づくりや区民の健康増進を図ることを目的とする。	5年度	1,808,000		1,661,582	146,418	2	2	2	2	2	スポーツを通じ、区民の健康増進と区民交流を図ることができたが、今後、より多くの区民が参加できるような他のスポーツ種目について、区民要望も含め事業開催できるか実行委員会等で検討する余地がある。	見直し・改善のうえ継続	今後も、より多くの幅広い区民の参加を目標としたスポーツ種目の検討を行い、活力あるふれあいの場づくりや区民の健康増進を図ることを目的として当該事業を実施する。	B
4	宮前歴史文化基礎資料の整理と刊行事業	平成13年作成の「宮前歴史ガイドマップ」策定委員が、各自収集した宮前区に関する貴重な歴史資料を分類、索引化し、区の歴史に関わる研究・学習情報サービスの一助とする。B5版40ページ、100部作成	16年度のみ	1,000,000		997,500	2,500	3	3	3	3	3	各区役所や各図書館で閲覧に供し、広く周知することで、より広く情報提供を行うことができるようになった。	終了する		
5	(仮称)宮前スポーツセンター建設事業並びに周辺地域のまちづくりに関する区民意見集約・反映事業	スポーツセンター建設事業に関し、区民と行政が連携し、施設や周辺地域のまちづくりに関わる区民意見の集約・協議を進めることで、問題の解決に寄与する。会議開催数16回、報告書作成	9年度	1,000,000		997,500	2,500	3	3	2	2	2	施設開設に伴う交通環境について地域住民が意見をまとめ自主的に役割を担うことにより、地域での連携意識のようなものが根付いてきている。	見直し・改善のうえ継続	施設開設に先立ち検討を行った、周辺地域の交通安全環境整備については今後とも継続していくが、地域の課題を住民が独自に解決していく自主的な会として、交通安全以外のまちづくりについても活動できるように支援していく必要がある。	B
6	まちかど功労表彰事業	日頃の地道な活動を通じて、地域のまちづくりの推進や宮前区のイメージアップにつながる身近な善行や貢献を表彰する。平成16年度は5人5団体が受賞。10月17日に行われた区民祭で表彰された。	10年度	300,000		172,590	127,410	2	2	2	1	2	国、県、市に様々な表彰制度があり、当事業への推薦数は減少しているため当初目的は、終了したものと思われる。	終了する		
2 文化・芸術のまちを目指して																
7-1	文化芸術推進事業(ロビーコンサート)	区民に親しまれる区役所の実現を目指し、毎月1回、区役所2階ロビーでコンサートを行っている。来場者数は毎回概ね200人前後	5年度	4,494,000		4,488,815	5,185	3	2	3	3	2	庁舎を利用した定期的なコンサートとして定着している。	見直し・改善のうえ継続	区民の関心も高く、問合せも多い。また、出演に対しても問合せがある。今後とも内容の質を確保しつつ、さらなるジャンルの広がりを図るための検討が必要と思われる。	A
7-2	文化芸術推進事業(しあわせを呼ぶコンサート)	音楽を通じた心のバリアフリーを目指す交流の場とするため、障害のある人々による合唱とゲスト(平成16年度は童謡歌手の川田正子)によるコンサートを、7月16日(金)、宮前市民館にて開催した。	5年度					3	2	3	2	2	回を重ねるごとに区民に周知されてきている。地域作業所連絡会と連携を図り、今後どのように発展させていくかについて、検討する必要がある。	見直し・改善のうえ継続	広く周知されるようになり、区民の関心も高くなってきている。このコンサートを障害のある人と触れ合うきっかけとして、より発展できるような企画等を検討する必要がある。	A
7-3	文化芸術推進事業(市制80周年記念コンサート)	区民に音楽の魅力を感じてもらうため、市制80周年を記念した「シンフォニックタウン宮前」(ゲスト:ロス・インディオス、桑江知子)10月15日(金)、宮前市民館を開催した。	16年度のみ					3	3	2	2	3	市制80周年を記念した催しとして、音楽を通じてのよいのある時間を過ごしてもらえた。	終了する		

平成16年度 宮前区魅力ある区づくり推進事業評価一覧

	事業名	目的及び内容	開始年度(平成)	予算額(円)	調整額(円)	決算額(円)	不用額(円)	事業評価					次年度以降の事業計画	具体的な展開方針	優先度	
								必要性	公平性	効率性	達成度	総合評価				
7-4	文化芸術推進事業 (みやまえ太鼓ミーティング)	演奏者も来場者も、太鼓を楽しみながら交流を深め、宮前区の文化・伝統を再認識するとともに、区民相互の共感・連帯感を高める。 平成16年度は8月28日(土)、宮前市民館、市民広場にて開催	11年度	2,080,000		1,438,443	641,557	2	2	2	2	2	2	見直し・改善のうえ継続	文化芸術事業としては、今まで継続してきた成果を維持した上で、より新しいものを取り入れ、活性化させるための検討をしていく。また、より区民主体の運営を目指して、実行委員会の役割について引き続き検討を行っていく。	B
3 量かなこととふれあいを育むまちづくりを目指して																
8	友好都市交流事業	区政15周年を迎えた平成8年度から、「個性豊かな新しい都市生活文化を創造する区」の実現を目指して、長野県佐久市との交流を開始。16年度は委員会3回開催、子ども交流会、市民間交流事業、りんごオーナーの募集などが行われた。	8年度	1,472,000		762,104	709,896	2	2	2	2	2	2	見直し・改善のうえ継続	設立当初と現在の交流の目的を再度確認し、佐久市民および宮前区民が独自に交流の企画を立て、実践できるような支援体制の整備を検討する。また、佐久市は平成17年度に他町村と合併したので、友好都市としての在り方、状況を確認していく。	C
9	ヘルスUP ² みやまえ計画事業	プレ現役世代(幼児～高校)の心と体の健康づくりを図るため、学校・地域とともに事業を展開する。若年層と高齢層の交流を深める中で、プレ現役世代が次世代を担える力を養うことと、それを取り巻く大人たちが「支え手」としての社会的役割を果たすことを目指す。いきいきダイエット計画、出前衛生教育、男性料理教室など	16年度	3,176,000	302,000	3,128,985	349,015	3	3	3	2	3	終了を見越して継続する	行政の中継ぎがなくても、地域と学校が結びついたり、地域の中でプレ現役世代を支える取り組みが展開されてきたりすることが、目標である。17年度は16年度の取り組みを報告集にしてPRして、各地域での活動の展開が広がるようにしていきたい。	A	
10	宮前区子育て支援事業	子育て支援に関わる関係者の連携を図り、安心して子育てが出来る地域づくりを推進する。宮前区子育て支援関係者連絡会、年6回開催。子育て情報誌「宮前区子育てかわら版」を年3回(5、8、12月)、各9,000部発行	16年度	218,000		215,298	2,702	2	2	2	2	2	見直し・改善のうえ継続	子育て支援関係者連絡会を継続及び定例実施する。「宮前区子育てかわら版」の発行は印刷業者に委託し、より見やすい紙面に改善する。また、こども総合支援担当との連携を図る。	A	
11	安全対策基礎調査事業	区内全体の歩道設置状況、形状、交通量などの危険度調査を行い、歩行者の安全対策に向けた基礎資料を作成する。		2,000,000		0	2,000,000							あんしん歩行エリア整備事業の計画策定に伴い、調査内容が重複するので関係局と調整した結果、本事業を中止することとなった。		
12-1	宮前区役所保健福祉センターごあんない事業	保健福祉センターの保健・福祉サービス等の内容と日程を半期ごとポスティングで各戸配布し、区内全世帯に情報提供することにより、区民の保健福祉に関する関心と理解を深める。また、関連する機関や部署の情報を網羅することで、区民生活の利便性を高め、生活に密着した情報誌として活用できるようにする。半期各90,000部作成	15年度	5,239,000	463,000	5,516,175	185,825	3	2	2	3	3	見直し・改善のうえ継続	区が策定した計画のお知らせや、保険年金などの制度解説などを今後の記事の内容に加え、行政への関心が深まるようにする。宮前区役所のお知らせとして発展させていきたい。	A	
12-2	転入者への宮前区情報の提供とPR事業	新たに宮前区に居住する方に対して、「かわさき生活ガイド」「ごみカレンダー」「みやまえマップ」等の情報誌を袋に一括して入れ配布を行い、区民にとって必要な情報を一括して提供する。	16年度	1,995,000	-1,706,000	196,350	92,650	2	2	3	3	2	見直し・改善のうえ継続	袋に情報誌を一括して配布することについては継続していく。しかし、袋の作成については、広告入りの寄付封筒(無料)を取り扱う業者に依頼できれば、市の予算を削減できる。	A	
12-3	区役所保健福祉等情報提供事業(総合案内掲示板)	行政等公共団体作成のポスターを掲示することにより、区民の方々により身近な情報を提供する。	16年度	459,000		456,120	2,880	3	2	2	3	2	終了する	喫煙スペースを撤去し、その空間を有効に利用し、多くの来庁区民に情報提供する場ができた。		
13	バリアフリー推進事業	区役所北側の約半分及び西側の坂の歩道にノンスリップタイル及び視覚障害者用誘導ブロックを敷設し、かつ入口付近の段差を解消することにより、安全かつ便利に区役所を利用してもらう。また、区役所内に総合案内板及び窓口案内板を設置し、区役所利用者が迷うことなく速やかに目的の窓口を探すことができるようにする。	16年度	5,315,000	909,050	4,804,500	1,419,550	3	3	3	3	3	見直し・改善のうえ継続	来庁者の全てが安全かつ便利に区役所を利用してもらう必要があり、特にノンスリップタイル等の設置については、順次設置していく必要がある。	B	
4 その他																

平成16年度 宮前区魅力ある区づくり推進事業評価一覧

事業名	目的及び内容	開始年度 (平成)	予算額(円)	調整額(円)	決算額(円)	不用額(円)	事業評価					次年度以降 の事業計画	具体的な展開方針	優先度	
							必要性	公平性	効率性	達成度	総合評価				
14 緊急対応事業	緊急かつ重要な区民要望や地域課題等の速やかな解決を目的とする。		4,190,000												
14-1 区民にやさしい環境整備事業	区役所2階男女トイレの異臭について、構造上の問題もあるが、改修工事を行うことで脱臭効果を高め、異臭の原因を絶つ(1.現在の給排気口をより強力なものに交換。2.女性側の和式の個室を1つだけ残し、残りのものは男女とも全て洋式化。3.異臭の原因といえるトイレ床に付着している尿石の除去)。	16年度	0	1,714,439	1,476,300	238,139	3	3	3	3	3	改修工事を行った効果がすぐに実感でき、問題が解消された。	終了する		
14-2 利用しやすい窓口環境整備事業	既存の記載台(3台)を二人が併用して使用できる記載台に取り替え、高齢者が座って記入できる腰掛け付きの記載台1台を設置。高齢者等への窓口サービスの向上を図る。	16年度	0	575,000	574,035	965	3	3	3	3	3	区民に満足できるサービスを提供できるようになった。	終了を見越して継続する	平成17年度にローカウンターを窓口を設置し、同事業は終了する予定である。	B
14-3 利用しやすい窓口環境整備事業(保健福祉総合相談窓口の充実)	不安定かつ危険で、車椅子での利用が困難である受付カウンターをローカウンターにし、また、ダンボール箱の不用品で作成したパンフレット置場を新規のスタンドに変更、区民の利便性を図る。	16年度	0	305,000	270,585	34,415	2	2	2	3	2	相談者のプライバシー保護などを考慮すると現状で満足してはならず、区民が安心して相談できる窓口を目指したい。	見直し・改善のうえ継続	より区民の方が利用しやすい環境と、保健福祉に關係するパンフレットなど、区民の方が必要としている情報を自由に取れる環境整備を継続して実施したい。	B
14-4 わかりやすい窓口環境整備事業(番号発券機維持)	職員が番号札を取って窓口に来庁された方へ渡したり、窓口に来庁された方自身が番号札を取ったりして、窓口処理の来庁者の順番を明確にする。	14年度	0	179,000	178,500	500	3	3	2	3	3	窓口業務を的確、スピーディーに順序よく処理することにより来庁者の不安が解消でき、事業目的に対する成果は得られている。	終了を見越して継続する	番号発券機維持については次年度以降も継続するが、「魅力ある区づくり推進事業」ではなく、通常の事業の中で継続し、経費についても恒常的経費に計上する等の検討をする必要がある。	C
14-5 宮前区イメージアップ事業(NHKとの共催イベント事業)	区とNHKの共催で実施。NHKの両番組(12月5日開催の「BSどーもくんワールド」公開録画12月5日、10月16日のNHK大河ドラマ「新選組！」公開セミナー)を通じて宮前区の紹介とイメージアップを図る。	16年度	0	228,820	122,830	105,990	3	3	2	2	2	どーもくんワールドの番組内で、宮前区の紹介(環境保護グループの活動を通じて地域を案内)している。全国放送なのでインパクトはあった。	終了する		
14-6 ガイドブック・ガイドマップ増刷事業	「宮前ガイドブック」及び「みやまえガイドマップ」の在庫がないことから、現状に合うように修正し、転入する区民を中心に配布するため、増刷する。ガイドブック10,000冊、ガイドマップ10,000冊増刷	2年度	0	4,115,000	3,864,000	251,000	2	2	2	2	2	内容を修正し、増刷できたことから、発行部数などの課題はあるものの、概ね適正であった。	見直し・改善のうえ継続	地域の情報源であることから、ガイドマップ及びガイドブックの必要性は高い。今後は内容を見直し、分かりやすく内容を充実させていくことが望まれる。	B
15-1 区政推進管理運営事業	魅力ある区づくり推進事業実施に伴う一般事務経費等(複写品費・電気料)の支出 区内に支出された総合案内板の電気料の支出及び修繕 区役所に設置されたからくり時計の修繕		2,409,000		1,577,865	831,135	2	2	2	2	2	事業の細目や執行課の調整について見直しが必要	見直し・改善のうえ継続	事業の細目について、区政推進事業で実地していたもののメンテナンスが主であるが、事業執行にあたっては、担当課及び効率的、計画的な体制の検討が必要である。	
15-2 区役所庁内BGM配信事業	区役所来庁者に対して、庁舎内にBGMを配信することにより、各種手続きを行うまでの待ち時間等を有意義に過ごしてもらえらる効果を期待し、こころのゆとりを生み出せることを目的とする。	14年度	45,000		44,100	900	3	3	3	2	2	音楽を通じて、区役所のイメージを変えることができ、来庁した市民のこころにゆとりを生み出す効果がある。一方、曲目がランダムに配信されるため曲目紹介が難しく、改善する必要がある。	見直し・改善のうえ継続	現状の仕様書を見直し、来庁者に曲目紹介ができるようプログラムスケジュール作成について、仕様変更する。	B

合計	(A)	(B)	(C)	(D)
	50,000,000	5,585,309	39,998,580	11,396,729
		調整額合計(B) - 4,190,000(緊急対応費) = 1,395,309(E)		
		不用額合計(D) - (E) = 10,001,420(不用額)		
		予算額合計(A) - 決算額合計(C) = 10,001,420(不用額)		
	予算額	決算額	不用額	
	50,000,000	39,998,580	10,001,420	